

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
中国語Ⅱ				張 明軍	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	1 単位	1 年次	講義	無	無
授業の概要(Course Description)					
<p>☆「中国語Ⅰ」の継続として、より高いレベルの中国語を学ぶ。一般的な文法・単語をより多く学び、使い方を理解した上で、より複雑な会話ができることを目指す。</p> <p>☆中国語を学ぶ入門段階の後半となり、基礎作りと発音のコツ、文法の理解、会話の応用などを中心として授業を進める。</p> <p>☆「中国語Ⅰ」と比べ、文法、単語、慣用語の量が倍増する。諦めずに、「中国語Ⅰ」と同様に全15回の講義に出席すること。講義では中国語の歌、社会を映像で紹介する。</p> <p>☆授業外にも、周りの中国人留学生などと積極的に中国語会話することを勧める。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>本講義は入門段階として、基礎づくりを重視している。到達目標は以下の三点とする。</p> <p>①正確に発音できること；</p> <p>②基礎的な文法を正確に解説できること；</p> <p>③日常会話、慣用語を話せること。</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	中国語Ⅰで学んだ内容を復習する；オリエンテーションなど				
第 2 回	『約束』①正反疑問文；②「吧」の使い方				
第 3 回	『買い物』①お金の言い方；②値段の言い方；③「形容詞+一点儿」の使い方				
第 4 回	『娯楽』①「会+動詞」の使い方；②経験を表す「过」の使い方				
第 5 回	『中華料理店で食事』①中華料理の紹介；②注文の仕方				
第 6 回	『天気』①「別+動詞」の使い方；②変化を表す「了」の使い方；③気候用語				
第 7 回	『スポーツ』①「能+動詞」；②動詞持続「着」の使い方；③「太～了」の使い方				
第 8 回	『祭日』①中国の年中行事；②日付、曜日；③省略疑問文				
第 9 回	『SNS』①特殊疑問詞「怎么」；②「給」の使い方；③近接未来の表現				
第 10 回	『ネットショッピング』①比較表現；②動詞の重ね型；③進行を表す“在”				
第 11 回	『道を尋ねる』①方位詞；②「离」の用法；③「向, 朝, 往」の使い方				
第 12 回	『郵便局での会話』方向補語について				
第 13 回	『銀行での会話』口座開き、引取、送金、両替に関する表現				
第 14 回	『助けを求める』①緊急事態の表現；②「该」使い方				
第 15 回	全体復習；試験の注意事項説明等				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>※毎回講義で学んだ内容を確認し、担当教員が送った音声メッセージを活用して復習すること。※</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
受講態度 (15%) 普段音声課題提出 (15%) 期末テスト (50%) 期末テスト音声提出 (20%)	秀：的確な発音ができ、学習した文法ポイントを適切に説明できる；簡単な文章を書け、学んだ日常会話の応用が来ている。 優：的確な発音ができ、学習した文法ポイントについて、おおよその説明は来ており、学んだ日常会話の応用が来ている。 良：発音が半分以上来ていおり、主な文法ポイントを理解している。学んだ日常会話が半分以上応用が来ている。 可：最低限の発音、文法の理解、日常会話の応用が来ている。 不可：最低限の発音、文法の理解、日常会話応用が来ていない。
テキスト (Textbook)	【書名】 《中国GO》 【著者】 張 明軍 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	Youtubeで「超級工程」「致富経」「舌尖上的中国」「一带一路」等の現代中国に関する特集を検索し、視聴してください。
備考 (Other Information)	WeChatというアプリを各自の端末にインストールする必要がある。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	張 明軍 <zhang-mingjun@fukuchiyama.ac.jp>; WeChat : mingong9518539